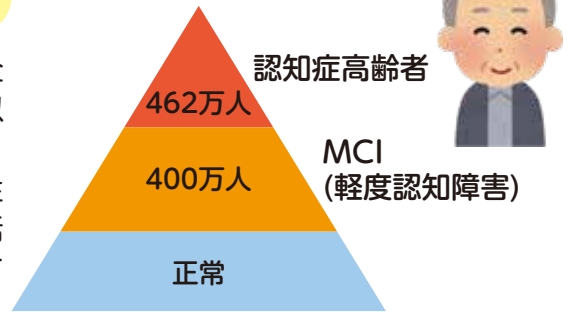


三豊市地域包括支援センターだより

認知症について知っていますか？

認知症は誰もがなる可能性のある病気です。認知症高齢者は全国で462万人・軽度認知障害の人は400万人と推計され、65歳以上の約4人に1人が認知症見込みといわれています。

認知症になっても家族や友人など周りの人の理解があれば、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができます。地域包括支援センターでは、認知症に関するさまざまな取り組みを行っています。



認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る「認知症サポーター」を養成する講座です。市民、小学校、中学校、高校、企業・団体などを対象に実施しています。

これまでに6,884人が受講しています。(令和3年12月末時点)

〈講座の内容〉

- ・認知症の基本的な知識(症状、治療)
- ・認知症の人への対応

★講座の参加を希望される人は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

高校での
認知症サポーター
養成講座



オレンジかふえ

認知症が気になる人や認知症の人とその家族、地域の人など誰でも気軽に参加し、専門職に悩みなどを相談することができます。



認知症サポーター交流会

認知症サポーター(登録者)、介護予防ボランティア、キャラバンメイトが、認知症に対する思いや自分にできることについて意見交換をする場です。



チームオレンジをつくるための支援

「チームオレンジ」とは認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対して早期から生活面の支援を行う取り組みです。取り組みの第一歩として、認知症サポーター養成講座などの受講者に対して、支援に必要な知識を深めるためステップアップ講座を行っています。



認知症の本人と家族のつどい

認知症の本人が同じ悩みを抱えている人と交流し、自らの気持ちや思いを語り合える場です。また、ご家族が日常の困りごとや介護の悩みなどを共有したり、理解を深める場です。



ひとりひとりが、それぞれ役割のある大切な地域の一員です。
「認知症になっても安心して暮らせる地域」をみんなでつくりましょう!



三豊市高齢者あんしん見守りネットワーク推進協定の締結

三豊市では、地域と密接な関係がある企業と「三豊市高齢者あんしん見守りネットワーク推進協定」を締結しています。令和3年12月、新たに「四国アルフレッサ株式会社」「明治安田生命保険相互会社」と締結しました。この協定は、高齢者のみの世帯や認知症高齢者が増加する中、認知症に対する知識の普及啓発、地域における高齢者に見守りの推進をはかることにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めることを目的としています。



【協定締結先】

- ・三豊市上下水道工事業協同組合
- ・四国新聞販売店会「四国会」
- ・香川ヤクルト販売株式会社
- ・香川県農業協同組合
- ・株式会社マルナカ
- ・三豊環境保全事業協同組合
- ・生活協同組合コープかがわ
- ・四国アルフレッサ株式会社
- ・明治安田生命保険相互会社

協定締結先の事業所の皆様には「認知症サポーター養成講座」の受講を推進しています。

住み慣れた地域で安心できる暮らしを続けていくために

在宅で介護サービスを受けながら生活している人の中には、医療と介護の両方を必要とする人がいます。

そのような医療と介護の両方を必要とする人が、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、家族や医療・介護の専門職などのその人の生活を支える人が連携することが重要です。

そこで三豊市地域包括支援センターでは、さまざまな分野の専門職が連携することを目的に、毎月「在宅医療・介護連携勉強会」を開催し、情報交換等を行っています。

在宅医療・介護についての相談は、三豊市地域包括支援センターにご連絡ください。



三豊市地域包括支援センター（三豊市役所本庁舎3階 介護保険課内）
南部高齢者サポート（財田町国保高齢者保健福祉支援センター内）

TEL 0875-73-3021
TEL 0875-67-3788
FAX (共通) 0875-73-3023